

平成 12 年度事業報告

本学会の目的達成のため、定款に定められた次の各事項の事業を行った。

1. 下記の研究発表会、学術講演会を開催した。

1) 研究発表会

- a) 春季大会：平成 12 年 4 月 1 日(土)～5 日(水)、於東京水産大学（東京都港区）

大会委員長 川口弘一

研究発表 668 題

シンポジウム 5 件 演題 50 題

ミニシンポジウム 3 件 演題 15 題

平成 11 年度日本水産学会賞受賞者講演 9 件

参加者 1,531 名

- b) 秋季大会：平成 12 年 9 月 27 日(水)～30 日(土)、於福井県立大学福井キャンパス（福井県吉田郡松岡町）

大会委員長 吉中禮二

研究発表 456 題

シンポジウム 3 件 演題 35 題

ミニシンポジウム 1 件 演題 5 題

参加者 951 名

2) シンポジウム

春季大会開催時（平成 12 年 4 月 1 日，5 日，於東京水産大学）

- a) 「漁具の選択特性の評価と資源管理」演題 10 題

企画責任者：東海 正・松岡達郎・梨本勝昭・北原 武・有元貴文

- b) 「ホンダワラ類の繁殖・生態と藻場造成技術」演題 10 題

企画責任者：大野正夫・能登谷正浩・前川行幸

- c) 「魚類の自発摂餌 —その基礎と応用—」演題 11 題

企画責任者：田畑満生・日高磐夫・秋山敏男・会田勝美・白石 学・植松一眞

- d) 「HACCP と水産物」演題 8 題

企画責任者：藤井建夫・山中英明・塩見一雄・田中宗彦・山澤正勝

- e) 「水産環境における内分泌攪乱物質（環境ホルモン）問題の現状と課題」演題 11 題

企画責任者：川合真一郎・山本義和・小山次朗・山田 久・淡路雅彦

秋季大会開催時（平成 12 年 9 月 27 日，30 日，於福井県立大学福井キャンパス）

- a) 「マアナゴの資源生態と漁業」演題 11 題

企画責任者：中園明信・東海 正・望岡典隆・鍋島靖信・反田 實

- b) 「選択的漁獲技術開発のための漁獲過程に関する研究の課題と今後の展望」演題 12 題

企画責任者：山本勝太郎・井上喜洋・山根 猛・松岡達郎・平石智徳・有元貴文

- c) 「スズキをモデルとした水産資源生物の新展開」演題 12 題

企画責任者：田中 克・木下 泉・青海忠久・西田 睦・林 勇夫

3) ミニシンポジウム

春季大会開催時（平成 12 年 4 月 1 日，5 日，於東京水産大学）

- a) 「漁具の流体力学的側面—Ⅱ 応用的研究」演題 5 題

企画責任者：松田 皎・梨本勝昭・山本勝太郎

- b) 「魚肉軟化とコラーゲン分解」演題 5 題

企画責任者：豊原治彦・佐藤健司・畑江敬子・山下倫明

- c) 「超小型記録装置による魚類の遊泳行動研究—現状と展望—」演題 5 題

企画責任者：上田 宏・梨田一也・坂本 亘・内藤靖彦

秋季大会開催時（平成 12 年 9 月 30 日，於福井県立大学福井キャンパス）

- a) 「水産ゼロエミッションの現状と課題」演題 5 題

企画責任者：三浦汀介・高橋是太郎・兼廣春之

4) 各支部の活動

a) 北海道支部

- ①支部例会（平成 12 年 12 月 1 日・2 日），於釧路市観光国際交流センター（北海道釧路市）
シンポジウム「北海道周辺の海洋環境と水産資源の変動」演題 4 題
研究発表 42 題 参加者数 105 名

b) 東北支部

- ①支部大会（平成 12 年 11 月 27 日・28 日），於宮城県水産研究開発センター（宮城県石巻市）
シンポジウム「安心・安全な生物生産と漁場環境保全」演題 4 題
研究発表 7 題 参加者数 93 名
②支部例会（平成 13 年 2 月 16 日），於仙台中央市民センター（宮城県仙台市）
特別講演「水産生物のダイオキシン類汚染」佐々木裕子
「魚介類に含まれるダイオキシン類の健康リスク評価について」内山巖雄
参加者数 41 名
③支部会報の発行 第 51 号

c) 関東支部

- ①春季大会の運営（平成 12 年 4 月 1 日～5 日），於東京水産大学 担当東京大学海洋研究所

d) 中部支部

- ①秋季大会の運営（平成 12 年 9 月 27 日～30 日），於福井県立大学福井キャンパス
②支部大会（平成 12 年 12 月 2 日），於東海大学清水校舎（静岡県清水市）
ミニシンポジウム「鯨類のストランディング（漂着）とその対策」演題 3 題
研究発表 8 題 参加者数 154 名

e) 近畿支部

- ①前期例会（平成 12 年 7 月 8 日），於京都大学芝蘭会館（京都府京都市）
研究発表 15 題，参加者数 78 名
②後期例会（平成 12 年 11 月 25 日），於キャンパスプラザ京都（京都府京都市）
シンポジウム「水産食品の安全性」演題 8 題 参加者数 79 名

f) 中国・四国支部

- ① 5 月例会（平成 12 年 5 月 20 日），於広島大学生物生産学部（広島県東広島市）
研究発表 6 題 参加者数 50 名
② 8 月例会（平成 12 年 8 月 3 日），於高知県水産試験場（高知県須崎市）
研究発表 6 題 参加者数 32 名
③支部大会（平成 12 年 10 月 21 日），於水産大学校（山口県下関市）
研究発表 10 題 参加者数 50 名
④支部会報の発行 4 月，7 月，10 月，1 月（平成 12 年度 1～4 号）

g) 九州支部

- ①支部例会（平成 12 年 8 月 26 日），於長崎大学水産学部（長崎県長崎市）
シンポジウム「有害プランクトンによる魚介類の毒化・斃死に関する最近の知見」演題 5 題
参加者数 96 名
②支部大会（平成 12 年 1 月 27 日），於長崎大学水産学部
研究発表 12 題 参加者数 110 名

5) 委員会の活動

a) 漁業懇話会委員会

- ①第 44 回講演会（平成 13 年 4 月 1 日），於東京水産大学
講演「漁業の影響—現状評価と解決策」演題 5 題
②サテライト国際ワークショップの開催について審議

b) 水産利用懇話会委員会

- ①第 1 回講演会（平成 12 年 9 月 27 日），於福井県立大学福井キャンパス
講演「北陸地方の水産伝統食品の現状と展望」演題 3 題 参加者数 50 名

②第2回講演会（平成13年2月9日），於東京水産大学
講演「水産食品の安全性確保」演題3題 参加者数70名

c) 水産増殖懇話会委員会

①第1回講演会（平成12年9月27日），於福井県立大学福井キャンパス
講演「日本海域における水産増養殖の現状と問題点」演題8題 参加者数78名

②第2回講演会（平成13年1月27日），於東京水産大学
講演「これからの種苗放流」演題4題 参加者数74名

d) 水産環境保全委員会

①シンポジウム（平成12年4月5日），於東京水産大学
「水産環境における内分泌攪乱物質（環境ホルモン）問題の現状と課題」演題11題
参加者数150名

②第1回研究会（平成13年2月10日），於東京水産大学
講演「東南アジアの水産養殖—その持続的発展を目指して」演題4題 参加者数87名

2. 下記の学会誌および学術図書を刊行した。

1) 学会誌

a) 日本水産学会誌：第66巻2号から第67巻1号まで計6冊

[総ページ1,164ページ {論文94編(582ページ), 短報12編(26ページ), 総説13編(69ページ), 懇話会ニュース・水産研究のフロントから21編(48ページ), その他439ページ}]
毎号5,300部発行

b) Fisheries Science：第66巻2号から第67巻1号まで計6冊

[総ページ1,283ページ {論文152編(1,095ページ), 短報37編(107ページ), その他81ページ}]
毎号5,450部発行

2) 水産学シリーズ

a) 第125号「HACCPと水産食品」藤井建夫・山中英明編, 1,500部発行

b) 第126号「水産環境における内分泌攪乱物質問題の現状と課題」川合真一郎編, 1,500部発行

c) 第127号「漁具の選択特性の決定と資源管理」東海 正・北原 武編, 1,500部発行

d) 第128号「魚類の自発摂餌—その基礎と応用」田畑満生編, 1,500部発行

3) 水産ブックス「ベルソーブックス」

校閲中。刊行には至らなかった。

3. 関連学協会等との連絡および協力

1) 共催

a) 「第37回理工学における同位元素発表会」

主催 日本アイソトープ協会, 共催 応用物理学会他56学協会
平成12年7月3日～5日, 於日本青年館（東京都新宿区）

b) その他

2) 協賛

a) 「第25回海中海底工学フォーラム」

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会, 協賛 日本造船学会他7学会
平成12年4月17日, 於東京大学生産技術研究所（東京都港区）

b) 「第14回キッチン・キトサンシンポジウム」

主催 日本キッチン・キトサン学会, 協賛 日本栄養・食糧学会他7学協会
平成12年5月18日・19日, 於関西大学100周年記念会館（大阪府吹田市）

c) 「第4回マリンバイオテクノロジー学会大会」

主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 日本化学会他30団体
平成12年5月20日・21日, 於香川県民ホール（香川県高松市）

d) 「第3回油化学製油技術セミナー」

主催 日本油化学会製油技術部会, 協賛 日本化学会他6学会
平成12年5月26日, 於大阪市立工業研究所（大阪府大阪市）

- e) 「第11回食品ハイドロコロイドシンポジウム」
主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会他 25 団体
平成 12 年 6 月 1 日, 於大阪市立大学文化交流センター (大阪府大阪市)
 - f) 日本海水学会創立 50 周年記念講演「日本海水学会の 21 世紀に向けての展望」
主催 日本海水学会, 協賛 ソルト・サイエンス研究財団他 14 団体
平成 12 年 6 月 9 日, 於早稲田大学国際会議場 (東京都新宿区)
 - g) 「第 5 回食品健康セミナー」
主催 日本油化学会食品健康科学部会, 協賛 日本農芸化学会他 9 団体
平成 12 年 6 月 2 日, 於昭和大学上条講堂 (東京都品川区)
 - h) 「第 1 回アクアバイオメカニズム国際シンポジウム」
主催 アクアバイオメカニズム研究会他 1 団体, 協賛 日本造船学会他 6 学会
平成 12 年 8 月 28 日～30 日, 於東海大学パシフィックセンター (ホノルル市)
 - i) 「第 26 回海中海底工学フォーラム」
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会, 協賛 日本造船学会他 6 団体
平成 12 年 10 月 10 日, 於東京大学海洋研究所 (東京都中野区)
 - j) 「第 12 回研究成果発表会」
主催 海洋調査技術学会, 協賛 水産海洋学会他 19 学協会
平成 12 年 11 月 1 日・2 日, 於海上保安庁水路部 (東京都中央区)
 - k) 「テクノ・オーシャン 2000」
主催 テクノ・オーシャン 2000 組織委員会, 協賛 海洋科学技術センター他
平成 12 年 11 月 9 日～11 日, 於神戸国際展示場 (兵庫県神戸市)
 - l) 国際シンポジウム「魚介類ゲノム解析への第一歩」
主催 東京水産大学, 協賛 マリンバイオテクノロジー学会他 4 学会
平成 12 年 11 月 10 日～12 日, 於東京水産大学 (東京都港区)
 - m) 「第 4 回油化学製油技術セミナー」
主催 日本油化学会製油技術部会, 協賛 日本化学会他 7 学会
平成 12 年 11 月 27 日・28 日, 於油脂工業会館 (東京都中央区)
 - n) 「農林水産環境展 2000」
主催 農林水産環境展実行委員会, 協賛 全国漁業組合連合会他 73 団体
平成 12 年 11 月 2 日～12 月 1 日, 於日本コンベンションセンター国際展示場 (千葉県千葉市)
 - o) 「食品健康科学シンポジウム 2000」
主催 日本油化学会食品健康科学部会, 協賛 日本栄養改善学会他 13 学協会
平成 12 年 12 月 16 日, 於帝塚山大学人間環境科学研究所 (奈良県奈良市)
- 3) 後援
- a) 水資源学シンポジウム「国連の日—21 世紀の水資源システム展望」
主催 日本学術会議水資源学専門委員会, 水文・水資源学会, 国土庁 後援 日本学術会議関連学協会
平成 12 年 3 月 30 日, 於日本学術会議講堂 (東京都港区)
 - b) 水産海洋学会シンポジウム「生物学的許容漁獲量 (ABC) に基づく TAC 制度の運用」
主催 水産海洋学会, 平成 12 年 4 月 5 日, 於東京水産大学 (東京都港区)
 - c) 「インターアカデミーパネル 2000 年会議及び第 8 回アジア学術会議」
主催 日本学術会議, 後援 日本学術会議関連学協会
平成 12 年 5 月 15 日～18 日, 於東京国際フォーラム・ホテルニューオータニ (東京都千代田区)
 - d) 「第 9 回国際魚類栄養・飼料シンポジウム」
主催 魚類栄養・飼料研究会, 後援 日本水産増殖学会
平成 12 年 5 月 21 日～25 日, 於シーガイア (宮崎県宮崎市)
 - e) 「The Third World Fisheries Congress」
主催 中国水産学会, 後援 中国農業部他 2 団体
平成 12 年 10 月 31 日～11 月 3 日, 於中国北京国際会議場 (中華人民共和国北京市)

- f) 海洋情報シンポジウム「海底地形情報が自然災害，漁場形成に果たす役割」
主催 日本水路協会海洋情報研究センター，後援 海上保安庁他 5 学会
平成 12 年 11 月 21 日，於朝日新聞本社浜離宮朝日ホール（東京都中央区）
- h) 公開学術講演会「どうなる，三宅島の自然？」
主催 日本動物学会，東京都，後援 日本生態学会他 7 団体
平成 13 年 1 月 20 日，於東京都庁第一庁舎大ホール（東京都新宿区）
- 4) 日本学術会議への協力
- 5) 日本農学会への協力
- 6) 学術の共同研究，情報の交換
- 4. 下記の海外との学術交流を行った。
 - 1) 文献交換の斡旋
 - a) 日本国内情報の照会に対する回答
 - b) その他
 - 2) 外国人研究者との交流
- 5. 下記の研究業績の表彰を行った。
 - 1) 日本水産学会賞受賞者の決定
 - a) 功績賞
 - 若林久嗣：魚類の感染症に関する一連の研究
 - 木村 茂：水産動物のコラーゲンに関する一連の研究
 - b) 進歩賞
 - 原 彰彦：魚類卵黄タンパク質前駆物質に関する免疫生化学的研究
 - 福代康夫：有毒渦鞭毛藻類の分類および生態に関する研究
 - 板橋 豊：魚油の精密分析法の開発とその応用
 - 堀 貫治：海藻のレクチンに関する生化学的研究
 - c) 奨励賞
 - 阪倉良孝：魚類の攻撃行動の個体発生に関する研究
 - 高木基裕：魚類の遺伝・育種研究における高感度 DNA マーカーの利用
 - 柿沼 誠：魚類筋肉タンパク質の熱安定性に関する遺伝子工学的研究
 - 吉江由美子：海藻の食物繊維に関する食品栄養学的研究
 - d) 田内賞
 - 櫻本和美：シミュレーション法による資源量の予測および資源管理方策に関する研究
 - e) 技術賞
 - 蛇沼俊二・宮嶋克己：イカ内臓の釣り餌化技術の開発
 - 羽倉義雄：低温材料力学物性を利用した凍結魚の加工技術に関する研究
 - 2) 日本農学賞受賞候補者の推薦
- 6. 下記の会議を開催した。
 - 1) 通常総会 1 回，平成 12 年 4 月 3 日，於東京水産大学
 - a) 平成 11 年度事業報告および収支決算の承認
 - b) 財産目録および貸借対照表の承認
 - c) 細則の一部改正の承認
 - d) 平成 12・13 年度役員（理事および監事）選任の承認
 - e) 名誉会員の承認
 - f) 除名者の承認
 - g) 平成 14 年度からの大会運営に関する試行の承認
 - h) 平成 12 年度事業計画案および収支予算案の承認
 - i) 平成 13 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの承認
 - 2) 評議員会 1 回，平成 13 年 4 月 1 日，於日本大学生物資源科学部
 - a) 平成 12 年度事業報告案および収支決算案の承認

- b) 財産目録および貸借対照表案の承認
 - c) 細則の一部改正案の承認
 - d) 企画広報委員会設置案の承認
 - e) 名誉会員候補者の承認
 - f) 除名予定者の承認
 - g) 平成 13 年度事業計画案および収支予算案の承認
 - h) 平成 14 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの承認
- 3) 理事会 7 回
- a) 平成 12 年度事業報告案および収支決算案の審議
 - b) 財産目録および貸借対照表案の審議
 - c) 平成 13 年度事業計画案および収支予算案の審議
 - d) 平成 14 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの審議
 - e) 名誉会員候補者の承認
 - f) 会長指名評議員の選出
 - g) 細則の一部改正案の審議
 - h) 企画広報委員会設置の審議
 - i) 企画広報委員会規定案の審議
 - j) 編集委員会委員長の選出方法等の審議
 - k) 編集委員会規定の一部改正案の審議
 - l) 学会賞授賞規定の審議
 - m) 学会賞授賞規定の一部改正の承認
 - n) 投稿規定の一部改正の承認
 - o) 創立 70 周年記念事業委員会組織の承認
 - p) 各種委員会委員および幹事の承認
 - q) 研究発表, 学術講演会等の開催
 - r) 学会誌の刊行
 - s) 水産学シリーズの刊行
 - t) 水産ブックス「ベルソーブックス」の刊行
 - u) 研究業績の表彰
 - v) 学会の経理の審議
 - w) 支部補助費の審議
 - x) 名誉会員逝去に伴う学会誌への追悼文の掲載の承認
 - y) 学会ホームページの開設
 - z) 学会パンフレットの作成
 - A) 入会者の承認
 - B) 除名予定者の審議
 - C) 除名者の退会者扱いの審議
 - D) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) についての審議
 - E) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) 正会員の加盟の承認
 - F) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) 対応委員会 (特別委員会) の設置
 - G) 沿岸環境関連学会連絡協議会への対応の審議
 - H) 第 3 回世界水産学会議 (WFC) への国際交流担当理事および幹事の派遣
 - I) 平成 13 年度文部省科学研究費補助金の審査委員候補者の推薦
 - J) 学術関係の賞等に対する候補者の推薦
 - K) 日本学術会議研究連絡委員会委員の選出
 - L) 日本農学会評議員および運営委員の選出
 - M) 複写に関わる総合的権利委託契約書の一部改正の承認
 - N) 関連学会等との連絡および協力

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 4) 編集委員会 | 9回 |
| (内 和文誌企画小委員会) | 6回) |
| 5) 学会賞選考委員会 | 3回 |
| 6) シンポジウム企画委員会 | 2回 |
| 7) 出版委員会 | 1回 |
| 8) 漁業懇話会委員会 | 2回 |
| 9) 水産利用懇話会委員会 | 3回 |
| 10) 水産増殖懇話会委員会 | 3回 |
| 11) 水産環境保全委員会 | 3回 |
| 12) 選挙管理委員会 | 3回 |
| 13) 創立70周年記念事業 | |
| 国際シンポジウム実行委員会 | 3回 |
| 国際シンポジウムプログラム委員会 | 1回 |
| 国際シンポジウムプログラム委員会幹事会 | 6回 |
| 新水産学用語辞典編集委員会 | 2回 |
| 水産ボックス編集委員会 | 2回 |
| 14) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) 対応委員会 (特別委員会) | 2回 |
| 15) 北海道支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回 |
| 16) 東北支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 3回, 支部幹事会 2回, |
| 17) 関東支部 | 支部評議員会 2回 |
| 18) 中部支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回 |
| 19) 近畿支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 3回 |
| 20) 中国・四国支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回 |
| 21) 九州支部 | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回 |

会 員 数 異 動 状 況 (種別会員数)

種 別	平成 11年度末 現在数	平成12年度異動						平成 12年度末 現在数	平成13年3月1日現在			
		入会	種別変更		死亡	退会	除名		平成13年度 より入会	種別変更		現在数
			入	出						入	出	
正 会 員	3,581名	117名	69名	6名	10名	203名	49名	3,499名	46名	37名	3名	3,579名
団体会員	209	5	0	0	0	5	0	209	1	1	0	211
賛助会員	97	0	0	0	0	5	0	92	1	0	1	92
外国会員	145	14	7	8	0	12	10	136	8	1	1	144
学生会員	498	287	1	65	0	335	1	385	145	2	36	496
名誉会員	23	0	2	0	2	0	0	23	0	0	0	23
合 計	4,553	423	79	79	12	560	60	4,344	201	41	41	4,545

平成13年3月1日現在支部別会員数 (正会員・学生会員)

支部 種別	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	合 計
正 会 員	361名	240名	1,098名	564名	383名	438名	495名	3,579名
学生会員	80	50	157	55	48	38	68	496